



大会宣言

一般社団法人日本クレーン協会東海支部は、今年設立 50 周年を迎えた。この間、愛知県下における労働災害は大きく減少した。特にクレーン等に起因する死亡者数は、記録の残る約 50 年前の昭和 41 年の 14 人が、平成 25 年は 1 人までに減少し、この先、念願の死亡ゼロが見えたかと思われた。

しかるに今年すでに 7 人の方が死亡され、極めて憂慮される事態となっている。この状況は、移動式クレーンの転倒、天井クレーンの点検時の挟まれ、クレーンの本体ワイヤーの切断、玉掛けワイヤーやベルトの切断、エレベーターの挟まれ等で、みな事前に想定し対策可能な在来型の災害であった。また、休業災害も同様に昨年比 52% も急増した状況である。

労働災害の絶滅はみんなの願いであり、私達に課せられた重大な責務である。東海支部会員は、本大会を契機に、クレーン等の作業に関して、労働災害防止のため、次の事項を一層推進することとする。

- 1 クレーン等と周辺機器設備の安全性能の向上を図る。
- 2 作業計画、安全作業マニュアル等を定める。
- 3 作業責任者が、資格者の中から運転士、玉掛け者、合図者を指名する。
- 4 定期自主検査と作業開始前の点検を行う。
- 5 有資格者に安全衛生教育（再教育）を行う。
- 6 作業者に、つり荷の下に立ち入らない等の安全教育を行う。

以上を徹底することにより、全会員一丸となって、クレーン等の作業に関わる仲間から死亡災害を発生させない、休業災害を大幅に減少させることの実現を目指すことを宣言する。

平成 26 年 11 月 17 日

平成 26 年度 東海クレーン安全大会